

使い方

HEMLINE (ヘルムライン)

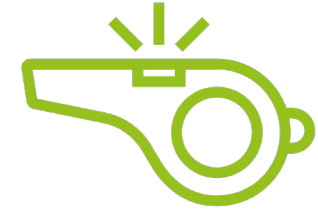
HELM AGの内部通報システム



HELM Global Compliance

バージョン 1.0、2023年10月

HEMLINE (ヘルムライン)、使い方



不正行為の通報が重要とされる理由について

当社に通報が行われる場合、そこには様々な理由があります。通報者は、法律違反や非倫理的な行動を認識し、これを通報することで当社への潜在的または実際の損害を最小限に抑えたいと考えているのかもしれませんが。あるいは、通報者が差別やいじめといった不正行為の標的であり被害者の場合もあるかもしれません。どのような理由にせよ、当社では報復を恐れることなく聴き取りが行われる体制を確保したいと考えています。

勇気と責任を持って不適切な行為や違法行為に対する注意を促す人は、当社にとって大きな助けとなります。どのような場合においても、当社は不正行為があることを知らされてはじめて、それに対して何らかの措置を講じることができるからです。これにより、HELM、一般の方々、あなた個人を保護することができます。

上記の目的のためにHEMLINE (ヘルムライン)が存在します。HEMLINE (ヘルムライン)について聞いたことがない、または通報の仕方が分からない方もいるかもしれません。ここでは、HEMLINE (ヘルムライン)の使い方、そして利用する際の注意点について説明します。

HELMLINE (ヘルムライン)、使い方



HELMLINE (ヘルムライン)について

HELMLINE (ヘルムライン)とは、いわゆる内部通報システムのことで、コンプライアンス・ホットラインやホイッスルブローワー・システムとしても知られています。目的に応じて構築されたコミュニケーションプラットフォームであり、当社に関連する実際のあるいは潜在的な不正行為、法律違反、非倫理的行為を通報するための安全な手段を提供するものです。

通報にあたっては、ご自身の氏名を提供した場合でも報復を恐れる必要はありません。すべての通報は秘密として取り扱われます。つまり、調査に関与する少数の人員のみが通報者の身元を知ることができます。

原則として、HELMは、通報後のやり取りがよりスムーズにできるように、通報の際には氏名を明らかにすることを望んでいます。ただし、希望により匿名での通報も可能です。

HELMLINE (ヘルムライン)のIT環境には、秘密保持のために特別な保護措置が講じられています。世界中の従業員だけでなく、違反やその疑いについて通報したい外部の者も、インターネットや各言語による無料電話等を通じた様々な方法でこのシステムにアクセスして通報することができます。

匿名通報について

守秘義務の原則は例外なくすべての通報に適用されますが、匿名通報の場合は通報者の身元も不明のままとなります。すなわち通報者は、通報を受けて処理する者に氏名や個人情報を開示することなく、不正行為を通報することができます。さらに、匿名の通報内容は、いかなる形式においても、通報者の身元と結び付けられることはありません。

HEMLINE (ヘルムライン)、使い方

通報経路と連絡手段について (1/3)

HEMLINE (ヘルムライン)には、下記のウェブサイトからアクセスすることができます。www.helmline.com .

最初のページから言語選択と入力マスクに直接繋がるようになっています。通報内容は直接Convercentの処理システムに送信されます。通報者は、希望に応じて匿名のままでも通報することも可能です。通報者は、入力の過程において固有のケース番号を受け取り、これをもとに後日システム内の処理状況に関するお知らせを確認することができます。HELMは、事案を処理する際に疑問が生じた場合、システムを通じて通報者にメッセージを送ることができます。

上記の代わりに、HEMLINE (ヘルムライン)の国別問い合わせ窓口で電話で連絡することもできます。その場合も匿名で連絡することが可能です。電話はすべて無料です。通訳の支援の下で訓練を受けたスタッフが対応します。電話での通報を処理する担当者は、通報内容をシステムに入力します。この場合も、電話での通報者はコードを受け取り、これをもとに必要に応じて電話で処理状況を問い合わせることができます。

HEMLINE (ヘルムライン)、使い方

通報経路と連絡手段について (2/3)

HEMLINE (ヘルムライン)に加え、従業員には社内の複数の連絡窓口もあります。

- 直属の上司
- その他の管理職

HELMにおいて、疑問や懸念、不明点をいつでもオープンに打ち明けることができる環境を作ることは、すべての管理職の責任でもあります。

- 人事部および内部通報取扱者
- 内部監査部
- コーポレート・コンプライアンス部

HELMLINE (ヘルムライン)、使い方

通報経路と連絡手段について (3/3)

すべての従業員は、違反の可能性に関する質問や情報をいつでもコーポレート・コンプライアンスに問い合わせることができます。

お問い合わせは、メール (compliance@helmag.com) または営業時間内に電話 (+49 40 2375 1111) で行うことを推奨します。

通報内容は、上述の連絡先に、メール、手紙、電話または直接提出することができます。通報を受けた者は、いわゆる「代理通報」として、その事案をHELMLINE (ヘルムライン)にも入力します。



HELMLINE (ヘルムライン)、使い方

通報の利用対象者について

HELMLINE (ヘルムライン)は、法令違反その他の不正行為がHELMの事業活動に直接的または間接的に関連するものであれば、原則としてどなたでも利用することができます。これは例えば、通報が合併会社、持ち株会社、サプライヤーに関連する場合にも適用されます。さらに、HELMLINE (ヘルムライン)の通報者は、自分自身が当事者である必要はありません。



HEMLINE (ヘルムライン)、使い方

HEMLINE (ヘルムライン)を利用すべき場合と利用すべきでない場合について

HEMLINE (ヘルムライン)は以下のようなことに対処することを目的としています。

	以下の違反行為	
具体的に分かっている事実	<ul style="list-style-type: none">- 適用法令の違反- HCOCで定義されている国際基準の違反	<ul style="list-style-type: none">- HELMによる会社としての違反- HELMの従業員による違反
潜在的な疑い／既存の疑い	<ul style="list-style-type: none">- 人権や環境に関する義務の不履行- HELMの社内規則の違反	<ul style="list-style-type: none">- HELMの直接的または間接的なサプライヤーによる違反- HELMがその他の取引関係にある取引先による違反
決定的でないか、または第三者から報告もしくは示唆された事実		

HEMLINE (ヘルムライン)、使い方

HEMLINE (ヘルムライン)を利用すべき場合と利用すべきでない場合について

HEMLINE (ヘルムライン)の趣旨にそぐわないケース

1. HELMLINE (ヘルムライン)は、いかなる緊急事態、特に医療上の緊急事態においても、援助を要請するためのものではありません。そのような場合は、直ちに現地の緊急連絡番号を通じて適切な救助や救急サービスに連絡してください。
2. 特にオンラインを利用した場合、通報が処理されるのは数時間後になる可能性があります。
3. 労働災害といったHELM内部の事故に関する通報においては、そのために提供されている報告手段を利用してください。
4. HELMおよびその従業員、サプライヤーが関与していない違反行為は対象にはなりません。
5. 強盗など、外部の者からのHELMに対する直接的な犯罪行為は、直ちに警察に通報してください。

また、以下のようなケースにおいても、HEMLINE (ヘルムライン)を利用して通報しないようにしてください。

同僚による善意のミスを認識した場合。そうした場合は、本人が誤りを正すことができるように、直接指摘してください。そうした行為に対して通報するのは行き過ぎた措置です。

HEMLINE (ヘルムライン)、使い方



理想的な通報内容について

HEMLINE (ヘルムライン)を利用する場合、通報内容として様々な項目に記入することができます。事実を詳しく説明できる十分なスペースが設けてあります。電話での通報の際は、相手から以下のような重要な情報を尋ねられます。

- 可能な限り具体的かつ時系列に沿った事実の説明
- 誰が？何を？どうやって？いつ？どこで？
- 誰が影響を受けているのか？
- 誰に責任があるのか？
- どのような結果や損害が生じているのか？
- 証拠（写真、メール、文書、目撃者の名前など）

通報内容を立証する必要はありません。

これは重要なことですが、通報を処理する際に疑問が生じることがあります。その場合、処理者は内部通報システムを通じて間接的にあなたに連絡を取ります。そうした問い合わせが届いていないか、特に最初のうちは随時確認するようにしてください。それが当社にとって大きな助けとなります。

HEMLINE (ヘルムライン)、使い方

通報後の処理について (1/2)



システムには、少数の事案の管理者しかアクセスすることができません。当該管理者は、影響を受ける可能性のある部署において管理職に就く者であり、コンプライアンス報告への対応について特別な訓練を受けています。受け取った通報内容はそれぞれ担当の事案管理者に転送されます。これらの事案管理者は、事件を評価し、可能な限り客観的な状況を把握するために、さらなる情報を得ようとしています。事案管理者が重大なケースだと判断した場合、コンプライアンス委員会が稼働します。この委員会には、コンプライアンス部、人事部、品質管理部、内部監査部が参加しています。事案管理者もコンプライアンス委員会も、自らの裁量で活動するわけではありません。コンプライアンス違反の可能性が報告された場合の対応については、明確なルールが定められています。

通報の対処においては、常に細心の注意を払う必要があります。通報者と被通報者双方の人格権を保護するため、調査は正しい裁量の下で慎重に行われなければなりません。公に烙印を押したり、偏見にさらしたりしないために、守秘義務を厳守することが極めて重要です。そのため、立証されていない不正行為について誰かに接触する前に、調査担当者もできる限り正確で独立した状況を把握しなければなりません。結局のところ、違反が証明されるまでは無罪の推定が適用されます。

HEMLINE (ヘルムライン)、使い方

通報後の処理について (2/2)

当然のことながら、疑いが立証されたり、確認されたりすることもあります。そしてもちろん、不正行為がもたらす悪影響を可能な限り排除しなければなりません。こうした行為においては、不正を行った者に何らかの影響が及ぶ可能性もあります。違反の内容によっては、適切な研修を受ける義務、労働法上の処分、損害賠償請求などが考えられます。

過去の例を見てもわかるように、コンプライアンス違反の多くは、関係者が関連規則を知らなかったために起きています。このような故意によらない違反を可能な限り防止するため、コンプライアンス部は全従業員に対して定期的な研修を行っています。なぜなら、規則と要件を正確に知っている者だけが、ミスを避けるために必要な確信を得ることができるからです。



HEMLINE (ヘルムライン)、使い方

報復からの保護について

1. 当社の明確なコミットメント

HELMは、情報提供者に対する差別、不平等な扱い、脅迫、その他の悪影響を一切許容しません。当社は、その影響力の及ぶ範囲内でそのような行為を認識した場合、適切な措置を講じるものとしします。

HELMLINE (ヘルムライン)、使い方

報復からの保護について

2. 守秘義務

内部通報システムを設ける主な理由の一つとして、通報者と被通報者の保護があります。第一に、被通報者に対しては無罪の推定が適用されます。また、特定の事実が公になることで、当社に損害が生じる可能性もあります。したがって、通報の処理に関連するすべての情報は、厳格に秘密情報として取り扱われなければなりません。

処理担当者に任命された者は、守秘義務契約に署名し、それぞれの職務について定期的に研修を受けるものとなります。これは通常、任務を引き受けたときに行われ、その後は年に一度のペースで行われます。

処理のプロセス全体を通じて、受け取った通報の秘密保持が保証されます。処理担当者は、第一に、必要な調査または必要な報告の目的に限り、第二に、必要な範囲に限り、関連情報を提供するものとなります。また、こうした情報は、対応する法的義務がある場合にのみ、HELM内の関連部署または外部の当局および機関に提供されます。

HEMLINE (ヘルムライン)、使い方

報復からの保護について

3. 情報保護

内部通報手続は、一般データ保護規則（GDPR）の要件を満たしています。データには通報を取り扱う担当者のみがアクセスでき、プロセスの終了後、対象者のデータ（氏名や電子メールアドレスなど）はGDPRに従って削除または編集されます。対象者は、DSGVO第15条に基づき、情報を得る権利を有しています。日本の個人情報保護法も記と同様の権利を保証しています。

HEMLINE (ヘルムライン)、使い方

違反の疑いがある者の権利について

コンプライアンス調査の影響を受ける者に対しては、できるだけ早く、詳細に弁明する機会が設けられるようになっていきます。グローバル・コンプライアンス・オフィサーは、聴取の実施に対して責任を負っています。同オフィサーは、聴取の記録が作成され、当事者によって署名されるようにします。

報復に対する保護は、違反者に対しても適用されます。当社側からの妥当な措置はありますが、それ以上の個人的な報復を受けることはありません。



HELMLINE (ヘルムライン)、使い方

通報の処理に要する時間について

ケースの事実関係によって、通報の処理に要する時間は異なります。しかし、公益通報者保護法とサプライチェーン法において、いくつかの枠組み条件が定められています。例えば、通報者に対する受領確認の期限は7日と定められています。最終的なフィードバックは3か月以内に通報者が受け取るものとされています。

前述の通り、通報者は匿名の通報の場合でも、いつでも処理の状況に関する情報を得ることができます。



HELMLINE (ヘルムライン)、使い方

HELMLINE (ヘルムライン)の利用料について

HELMLINE (ヘルムライン)はすべての通報者が無料で利用でき、HELMは一切料金を請求することはありません。ただし、HELMLINE (ヘルムライン)を通じて通報する場合に発生するインターネット使用料などの経費は、HELMでは補償していません。